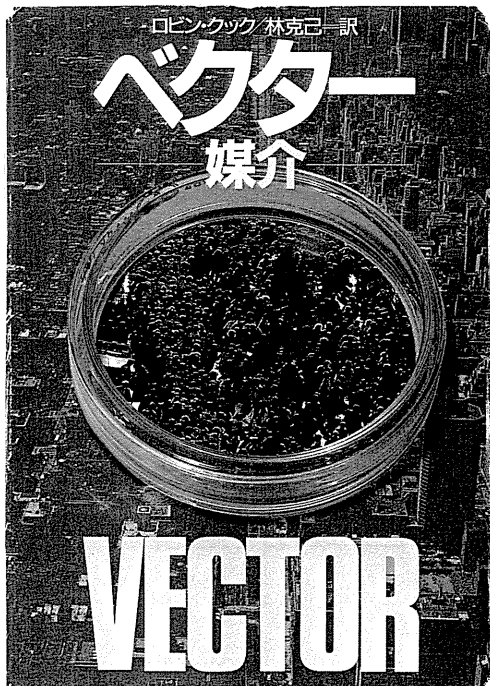


細菌戦と現代

創刊号 03. 5. 20



NV
ベクター——媒介——
ロビン・クック

NV
ク
2
20
ひろく
940
+

原著は、2001年のアメリカ炭疽菌事件以前の1999年に出版されている。事件は国内犯ではないかと、取りざたされていたが、この小説の犯人も国内犯である。

生物兵器である炭疽菌の製造員だったロシア人が、アメリカに移住したが、生活にゆきづまり、アメリカを恨むようになった。そして、自宅で炭疽菌を製造し、ばら撒こうと計画する。アメリカ政府に不満を抱いていた極右のスキンヘッドグループと知り合い、共謀して散布する。

「ベクター」とは、「感染性物質を一方の宿主からほかへ運ぶ媒介動物」だが、ここでは昆虫などは登場しない。ここにいう「ベクター」は「ひと」のこと。

5月20日(火) 731部隊細菌戦裁判 控訴審第1回 午前11:00~12:00
東京高裁101号法廷

裁判の終了後 デモ 2:00~ 政府交渉 衆議院第2議員会館第4会議室

同日 裁判報告集会 午後6:30~9:00 シニアワーク東京 地下講堂

JR・地下鉄 飯田橋駅 5分、地下鉄 九段下駅 8分

5月21日(水) 10:30~12:00 院内集会 衆議院第1議員会館第1会議室

5月22日(木) 午後6:30~9:00 原告との交流学習会

中野ゼロ西館1階学習室B(中野駅)、市川市教育会館(本八幡駅)

1940年農安・新京のペスト流行の謎（上）

1940年6月27日、農安県城にペストの初発患者が発生した。12月13日現在で、354（死亡298、治癒54、現患2）名。密埋葬などを考えれば、「400は下らない」という。農安県城は戸数城門外新開地を併せて5661、人口30800。—①—

新京では、9月23日に発病していたことが9月30日に判明した。

このペスト流行に就いては、「阿部衛生技術廠長は『新京に発生せるペストに就て』の題下に、過般のペスト禍は『人工なりや自然なりや』の世間の疑惑に対して批判を下し、……これが自然的発生なる所以を示唆」、—②— 「一部には謀略といふ考え方もあった。国家情勢の上から必ずしも軽視し得べき考え方ではないが」、—③— と大いなる疑惑がもたれていた。



農安の鉄道駅（2001年） 当時のまま

<農安ペストの怪>

約400人もの死者を出したにもかかわらず、医学誌にきちんとした疫学調査の論文が発表されていない。唯一存在するのは、松村高夫慶大教授が慶大医学部図書館で見つけた『高橋正彦ペスト菌論文集』にある、「昭和15年農安及新京ニ発生セル『ペスト』流行ニ就テ」だけである。これは、『陸軍軍医学校防疫研究報告』の論文を纏めたものであるから、㊟であり公表されない。—④—

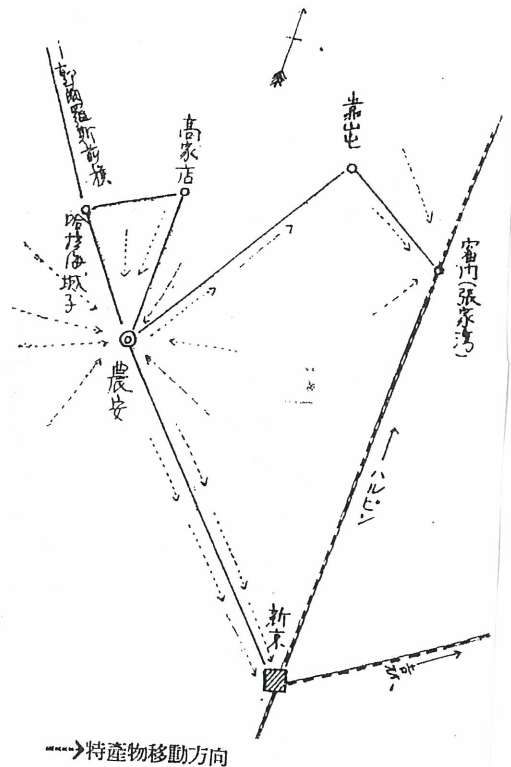
民間の研究者に発表を控えさせることがあったのか、あるいは、731部隊が独占したのか。高橋論文では、詳細な調査報告がなされているが、農安ペストの原因は不明とされている。

<ペスト常在地帯>

1910年のペスト大流行以来、農安の北方約32kmの高家店や西北約28kmの哈拉海城子一帯は、ペストが反復流行していた。1933年7～11月にも、死亡概数624名をだしている。しかし、農安県城内は発生したことがなかった。

新京でも、事故以外には、近年発生していない。「農安地方ハ地理的ニ見ルモ新京ニ近接シ、交通ノ頻度モ大ナレバ其ノ地ニ於ケル悪疫ノ消長如何ハ重大ナル影響ヲ来タス虞レアリ。」と警告されている。—⑤—

農安・新京間は約80km。この危険に対して、右図にあるように、物資や人の移動が調査され、対策が詳しく具体的に提言されている。—⑥—



<新京ペストの原因>

新京のペストは、9月23日に発生し、12月7日、千早医院を最後の患者が退院して終息した。28名の内、25名が死亡している。— ⑦—

初発患者は、「田島犬猫病院方使用人王某（十三歳女）病気のため韓家屯の生家に帰り二十五日午後三時死亡。」「今回のペスト系統は農安から侵入している事実も明瞭となったが、右は初発患者王がペスト指定地たる農安県萬寶山の親戚に最近まで寄寓していた事実がこれを立証」としている。—⑦—



当時の千早医院 今は軍の病院

(備考) (屍)は收容前に死亡したるもの、第二十七例は百斯篤に非ずと決定す

追加(28)	追加(29)	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	症例
尹	張	柳	宋	梶	士	王	蘇	蔣	黄	陳	福	李	高	宋	後	德	矢	藤	藤	福	太	松	井	田	韓	宋	田	王	氏
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	名
模	俊	〇	林	〇	〇	東	田	源	〇	玉	勉	金	〇	山	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	名
二〇	四六	四四	四四	三三	三八	三六	三七	一八	四〇	五五	二七	一〇	五三	一一	二二	一一	二八	九五	九二	九二	九三	二二	二四	二八	二五	二二	一三	一三	齡
♂	♀	♀	♂	♂	♀	♂	♂	♂	♀	♂	♂	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀	♂	♂	♂	♂	♂	♂	♀	♂	♂	♀	性
一	一	〇	〇	〇	一	一	不	一	不	九	一	一	一	一	一	一	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	發病日
一	一	〇	〇	〇	一	一	詳	一	詳	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	日
一	一	一	一	一	一	一	不	一	遺	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	轉歸日
一	一	一	一	一	一	一	詳	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	日
〃	死	治	〃	〃	死	治	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	轉歸
(屍)	(屍)	右鎖骨上窩腺	左股腺	右臀部皮膚、右鼠蹊	喘息、頸(右)腺	右眼腺(?)	(屍)	頸腺、鼠蹊腺	(屍)	左鼠蹊腺、敗血症	右鼠蹊腺、敗血症	胸骨上窩、腋窩	兩側鼠蹊腺、眼(?)	右腋腺(?)	頸腋窩、鼠蹊(兩側)	腋窩、鼠蹊、腋(兩側)	兩側鼠蹊、腋窩腺	(屍)	(屍)	(屍)	筋炎	左鼠蹊腺	兩側(殊ニ左)鼠蹊腺	兩側(殊ニ左)鼠蹊腺、咽頭炎	兩側鼠蹊腺	兩側鼠蹊腺	(屍)	咽頭炎	臨牀診斷
〃	腺	腺	皮膚	肺	皮膚	腺	肺	肺(原發性)	肺	肺	腺	肺	〃	〃	腺	肺	〃	〃	腺	肺	〃	〃	腺	肺	〃	〃	〃	〃	剖檢診斷

⑧の表(左図)では、もう一人、大〇安〇が9月23日に発病しているが、田島犬猫病院の6名が、9月26日から30日にかけて続けて罹病し、更に一人が10月5日に罹病しているので、王某が初発と見て良いのではないか。

—⑧—

< 731部隊の出動 >

新京は「満州国」の首都であるから、ペストは「満州国政府及び関東軍司令部の愕然たる動揺」をもたらした。参謀長直々の命令で、兵站参謀今岡豊中佐が対策本部長となり、731部隊に出動を命じた。—⑨—

今岡参謀は、ペスト発生 of 報告を受けた時、まっ先に脳裏に浮かんだのが、ペストの大発生によって終局を迎えたジャンヌ・ダルクが登場した百年戦争であったという。—⑨—

梅津関東軍司令官の10月5日付の「関作命699号」に、「一 軍ハ満州国ニ協力シ新京特別市ノ『ペスト』流行ノ絶滅ヲ期セントス 二 関東軍防疫給水部長ハ速ヤカニ所要ノ人員及材料ヲ以テ之カ防疫ニ任スヘシ」とある。更に第二独立守備隊長、新京陸軍病院長、関東軍野戦自動車廠長、関東軍陸軍倉庫

長、哈爾濱第一陸軍病院長などに協力を命じている。—⑩—

石井部隊長が指揮した「関東軍臨時ペスト防疫隊本部」は11月6日に解除された。7日以降は、市防疫本部が引き継いだ。

憲兵隊は厳戒態勢に入った。その中心であった新京憲兵分隊は、市内を囲む環状線の要所にテント張りの検問所を設置し、徹夜の警戒に当たった。「憲兵隊が警戒を厳にしたのは、・・・他からの謀略ではないかと疑ったからである。」

—⑨—

<石井部隊長の不可解な態度>

1938年に満州国政府防疫研究員に応募して、乾安でペスト防疫などに当たっていた沢田医師は、農安で石井部隊長と会っている。「面識のない私に・・・相談あり急ぎお出を請うと言う電報が参りました。当時すでにベテランを自称しておりました私は、その用件が何であるかすぐに納得できました。」そして、対策会議でペスト防疫の指導を行っている。石井は「一度も汚染地区に足を歩み入れたことがないのでございます。それに談話中でもペストに関して特に関心があるようには思われませんでした」。石井がペストに関心がないなどとありえない。これは、何か専門家に探りを入れたのではないか。農安のペスト流行に疑問を持っていないかと。—⑪— (つづく)

①新京に発生せるペストに就て (二) 満州國國立衛生技術廠長 阿部俊男

日本医学及健康保険 3246号 S16.8.16

②「満州通信」 日本医事新報 第982号 S16.6.28

③新京に発生せるペストに就て (一) 満州國國立衛生技術廠長 阿部俊男

日本医学及健康保険 3245号 S16.8.9

④朝日新聞 2000.9.9

⑤昭和八年吉林省農安地方ニ於ケル「ペスト」流行ニ就イテ 其1 流行概況ト之ガ臨床的乃至疫学的考察 満州医科大学微生物学教室 廣木彦吉 満州医学雑誌

⑥昭和八年吉林省農安地方ニ於ケル「ペスト」流行ニ就イテ 其2 防疫概況並ニ本地方ニ於ケル「ペスト」撲滅ニ對スル卑見 満州医科大学微生物学教室 廣木彦吉 満州医学雑誌

⑦「満州通信」 日本医事新報 第945号 S15.10.19

⑧百斯篤の臨床 康德七年(昭和十五年)新京に勃発したる百斯篤症の臨床的觀察

新京特別市立千早医院長 阿部篤惠 九大医報 15卷5号 S16.5

⑨新京のペスト撲滅作戦 日本憲兵外史 全国憲友会連合本部 S58.8.10

⑩関作命第六九九号 関東軍命令 10月5日

⑪赤い夕日の満州で—その1 沢田豊 会報171号 所沢市医師会

731部隊訴訟判決

細菌戦被害を初認定

東京地裁「悲惨で非人道的」

日中戦争時に旧日本軍の細菌戦部隊「七三一部隊」などがまいたペスト菌やコレラ菌に感染し、死にかけたり親族を亡くしたりしたとして、中国人百八十人が国に総額十八億円の賠償と謝罪を求めた訴訟の判決で、東京地裁は二十七日、細菌戦が行われ多数の住民が死した事実を日本の司法として初めて認定、「悲惨で非人道的」と指摘した。賠償請求は「戦争被害で個人の賠償請求を認めた国際慣習法は当時も今も成立していない」などの理由で退けた。原告側は控訴する方針。

細菌戦の事実について、国は反証をしておらず、岩田好二裁判長は「歴史の審判にたえる詳細な事実の確定は学問的な考察や議論を待つほかない」としながらも、原告

七三一部隊 日中戦争当時、ペストやコレラなどの細菌兵器を開発、実用化するために旧日本軍が創設した。正式名は関東軍防疫給水部。軍医だった石井四郎部隊長(故人)の名前から「石井部隊」と呼ばれる。1936年に正式発足し、中国黒竜江省ハルビン郊外に本部が置かれた。各地

で展開された細菌戦の主力部隊で「丸太」と呼ばれた中国人やロシア人ら約3000人に人体実験をしたとされる。終戦時の証拠隠滅などで、部隊幹部らの責任が問われることになったが、元部隊員の日記や証言などから実態が明らかになりつつある。

力所で、飛行機からペスト菌に汚染されたノミを散布したり、地上戦から食物などに付着させ、原告本人や親族ら多数の住民が感染して死亡するなどの事実を認めた。

ペストは周辺地域にも伝播(でんぱ)した。判決は中国側の調査などを引用し、細菌戦の結果、八地域で少なくとも計約一万人が死亡したと指摘した。また「細菌兵器の実戦使用で国には国際慣習法に上回る国家責任が生じた。

その上で、七三一部隊などが陸軍中央の指令で一九四〇―四二年にかけて、浙江省と湖南省の四

力所で、飛行機からペスト菌に汚染されたノミを散布したり、地上戦から食物などに付着させ、原告本人や親族ら多数の住民が感染して死亡するなどの事実を認めた。

百八十人は九七年と九九年に提訴。七三一部隊の存在や、部隊が細菌兵器開発のために人体実験を行っていた事実は、これまで別の訴訟の判決で認められていたが、細菌戦被害が正面から問われた初めての訴訟だった。

いた」としたが、戦争の賠償責任を放棄することを宣言した七二年の日中共同声明や、七八年の日中平和友好条約の締結で「国際法上の国家責任は決着している」と判断した。

被害救済を放棄したとする立法不作為の主張についても「細菌戦の被害は誠に悲惨で甚大、旧日本軍の戦闘行為は非人道的との評価は免れない」としながらも「国会で高次の裁量で決すべき性格のもの」と退けた。

「不公平だ。受け入れられない」。七三一部隊の細菌戦訴訟で二十七日、東京地裁に請求を退けられた中国人被害者の遺族らが東京・霞が関の弁護士会館で記者会見し、判決が被害事実を認めなかったことを評価する一方で、国に賠償を命じなかったことへの不満と怒りをぶつけた。



旧日本軍「七三一部隊」などによる細菌戦被害への賠償と謝罪を求めた訴訟の棄却判決を受け、裁判所周辺でデモ行進する原告・弁護士ら＝27日午後、東京・霞が関

「賠償棄却は矛盾」

中国人遺族ら不満と怒り

「不公平だ。受け入れられない」。七三一部隊の細菌戦訴訟で二十七日、東京地裁に請求を退けられた中国人被害者の遺族らが東京・霞が関の弁護士会館で記者会見し、判決が被害事実を認めなかったことを評価する一方で、国に賠償を命じなかったことへの不満と怒りをぶつけた。

掲げながら裁判所の周りを行進した。会見で土屋公献弁護士団

長は「国の公式な判断として七三一部隊がした事実を認めた意義は大きい。今後、この事実を否定、わい曲、隠ぺいすることほできない」と判決に一定の評価をした。

徐さんが「私が無理なら息子が、息子が駄目なら孫が後を継いで最後まで争う」と筆を突き上げながら力強く訴える。支援者から大きな拍手が送られた。弁護士会館の講堂で開かれた会見には中国の新聞や放送十数社も出席、関心の高さをうかがわせた。

判決後に遺族らは「強烈要求 受害者謝罪賠償」と国に謝罪と賠償を求める中国語の横断幕を

兵庫県姫路市に住む原告

告団長の王選さん(五七)も「事実を認めて賠償を命じないのは明らかに矛盾しているが、裁判長は人間としてできる範囲のことをしてくれたのではないかと理解を示し「これからは日本の社会がこの矛盾に配慮しないといけない」と話した。

一方、細菌戦で父や兄ら四人を亡くした湖南省の徐方智さん(五七)は「公正な判決を期待していたがショックだ。受け入れる余裕はない」。浙江省の陳知法さん(五七)も「不公平だ。判決は微妙な言い回しをしているだけだ」と怒った。

.....戦争遺跡.....

海軍館山航空隊中島分隊戦闘指揮所地下要塞は、千葉県館山市の「かにた婦人の村」の入り口にある。



「戦闘指揮所 昭和十九年十二月竣工 中島部隊」と書かれている。



地下要塞の中

「細菌戦と現代」購読のお願い

細菌戦裁判、731部隊、細菌戦、現代の生物戦、本の紹介、資料の紹介、などを掲載します。

購読料 2000円 年5回発行

パネル貸し出し「731部隊の細菌戦」

細菌戦の事実を知ってもらうために、パネルを作りました。内容は、731部隊とは、衢州細菌戦、寧波細菌戦、常德細菌戦、浙贛作戦細菌戦、恐ろしい伝播、裁かれる細菌戦の7項目です。細菌戦裁判支援のために、各地で、パネル展示会を開いてください。

ラミネート加工 A2 70枚 A3 2枚

貸し出し料 7日間 1万円 送料 実費 宅急便で送れます。

裁かれる細菌戦資料集シリーズ

- ① 篠塚良雄の戦犯供述書の整理分類 ¥1000
- ② 陳述書 篠塚良雄（少年隊員）・松本正一（航空班パイロット）
鑑定書 上田信（立教大教員）「ペストと村—日本軍による中国の細菌戦被害」 ¥1500
- ⑦ 731・細菌戦パネル展の報告 ¥1800
- ⑧ 731部隊細菌戦裁判第1審判決 ¥1500



〒336-0015 さいたま市南区太田窪5-18-15 林荘2階 奈須方
731・細菌戦裁判キャンペーン委員会 TEL・FAX 048・882・4707
郵便振替口座 00110-4-86543 731・細菌戦裁判キャンペーン委員会